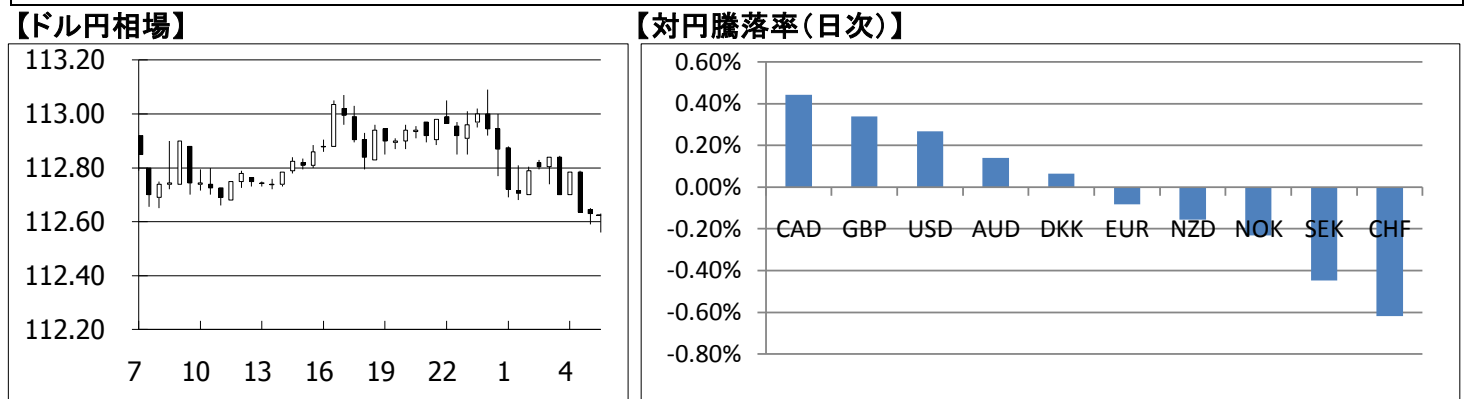


みずほCustomer Desk Report 2017/12/05号(As of 2017/12/04)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	112.75
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.88	1.1857	133.84	1.3492	0.7587
SYD-NY High	113.09	1.1897	134.05	1.3538	0.7614
SYD-NY Low	112.36	1.1830	133.27	1.3415	0.7580
NY 5:00 PM	112.42	1.1866	133.37	1.3480	0.7596
NY DOW	24,290.05	58.46	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	6,775.37	▲ 72.22	日本10年債	0.0400	1.00bp
S&P	2,639.44	▲ 2.78	米国2年債	1.8083	3.22bp
日経平均	22,707.16	▲ 111.87	米国5年債	2.1420	2.34bp
TOPIX	1,786.87	▲ 9.66	米国10年債	2.3714	0.90bp
シゴ日経先物	22,515	▲ 140	独10年債	0.3410	▲ 2.15bp
ロンドンFT	7,338.97	38.48	英10年債	1.2840	5.30bp
DAX	13,058.55	197.06	豪10年債	2.5490	2.35bp
ハンセン指数	29,138.28	64.04	USDJPY 1M Vol	8.14	▲ 0.24%
上海総合	3,309.62	▲ 8.00	USDJPY 3M Vol	8.44	▲ 0.17%
NY金	1,278.60	▲ 3.70	USDJPY 6M Vol	8.83	▲ 0.16%
WTI	57.47	▲ 0.89	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	188.69	▲ 2.00	EURJPY 3M Vol	7.88	▲ 0.22%
ドルインデックス	93.10	0.22	EURJPY 6M Vol	8.74	▲ 0.15%

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
12月5日	0:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 -0.8%	-1.1%	
	0:00	米 耐久財受注(除く輸送用機器・前月比)・確報	10月 0.9%	-	
	0:00	米 製造業受注指数	10月 -0.1%	-0.4%	
【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
12月5日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	10月 0.3%	0.0%	
	9:30	豪 経常収支	3Q -A\$9.0B	-A\$9.6B	
	10:45	中 Caixinサービス業PMI/総合PMI	11月 -/-	51.2/51.0	
	12:30	豪 RBAキャッシュレート	- 1.50%	1.50%	
	17:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 54.9/57.6	54.9/57.6	
	18:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 57.5/56.2	57.5/56.2	
	18:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 55.0/55.8	55.6/55.8	
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$47.5B	-\$43.5B	
	23:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンポジット)	11月 -/55.2	54.6/54.7	
12月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	11月 59.0	60.1	



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10-112.90	1.1800-1.1900	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は113円台示現後、反落した。米税制改革進捗期待からアジア時間より底堅く推移したドル円は112円台後半からじり高となり、欧州時間に113.07まで上昇。ドル円は米州時間に113.09まで上値を伸ばしたが、米株式市場が上げ幅を縮小させ、米金利も低下する動きに一時112.36まで反落し、結局112.42でクローズした。本日のドル円は既往レンジ内での揉み合いを予想する。米株式市場はセクター別でまちまちな動きを見せているものの、概ね落ち着いた値動きに終始しており、米税制改革への期待感は今後もリスク資産のサポートとなりそうだ。他方、米雇用統計等の重要イベントを週末に控える中、本日のドル円はやや方向感に乏しい展開となるだろう。

東京	先週末に米上院にて税制改革法案が可決したことを好感し、シドニー時間に112.40近辺でオープンしたドル円は、その後112.98まで上昇。しかし、113円目前で失速し112.70近辺まで押し戻される展開。かかる中、東京時間のドル円は112.88レベルでオープン。日経平均株価が軟調に推移する中、ドル円もじり安の展開となり、東京時間安値となる112.66まで下落。午後に入り、黒田日銀総裁より「2%物価へのモメンタムを揺るがす何か起きたら、すぐに対処する」などの発言が伝わったもののマーケットの反応は鈍く、東京時間引けにかけては特段材料の無い中でやや買い戻しの動きが見られ、112.86レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は堅調に推移した。112.86レベルでオープン。先週末に米上院が税制改革法案を可決したことや英国の欧州連合離脱交渉に対する進展期待から112円台後半を中心に底堅く推移。シドニー時間高値となる112.98を上抜けると、短期勢のストップを巻き込みながら一時113.07まで上昇。その後も高値圏での推移が続き、結局112.96レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは上昇した。1.3450レベルでオープン。バルニEU側責任者が離脱交渉が4日に進展すると見込んでいるとの一部報道に英国の欧州連合離脱交渉進展期待が強まり1.3538まで急上昇し、そのまま高値圏でニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	先週末に米上院で税制改革法案が可決したことから、ダウ先物が大幅に上昇する動きに円売りが強まり、海外市場でドル円は113.07まで上昇し、112.96レベルでNYオープン。米下院の共和党指導部が予算継続決議(CR)を使って今週金曜に期限を迎える債務上限問題を2週間先延ばしするとの報道が伝わる中、朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、ドル円は高値圏での推移が続き、NYダウが300ドル超上昇する展開にこの日の高値となる113.09まで上昇する。しかしこのレベルでは売り意欲も強く、株式市場が上げ幅を縮小する動きも加わり、112.68まで反落する。午後に入りやや買い戻される場面もあったものの、防衛省が2018年度から発射された弾道ミサイルなど急降下ミサイルに対しての迎撃能力を向上させるとのニュースが伝わったことから円買いが強まり、株式市場が上げ幅を縮小させる展開も相俟ってドル円は上値を切り下げ、112.36まで下落し、112.42レベルでクローズした。一方、ユーロは海外市場で1.1837まで下落する場面があったものの、全般的な株高を受けてユーロ円が上昇する展開に1.1878までサポートされ、1.1857レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を受けたドル買いに1.1830まで反落する。その後は新規材料に欠ける中、1.1850を挟んだレンジでの推移が続き、1.1866レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 高野・鶴田